

令和 2 年度第 3 回秩父市総合教育会議議事録

期 日	令和 3 年 3 月 22 日（月曜日）
時間・場所	15 時～15 時 40 分・本庁舎 3 階 庁議室
出席者	<p>久喜市長、倉澤教育長、増田教育委員、高野教育委員、松本教育委員、山中教育委員</p> <p>市長室長、市長室次長兼地域政策課長、市長室参与、地域政策課主幹教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長 2 人、教育総務課長、学校教育課長、保健給食課長、教育研究所長</p> <p>傍聴者 1 人</p>
会議内容	<p>○市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は 1 年間を通して新型コロナウイルスが社会全体に影響を及ぼした 1 年だった。 ・市としては、様々な分野で迅速かつ適切に対策を講じてきた。教育の分野においても創意工夫が重ねられてきている。 ・新型コロナとの闘いは、この先も続いていくことが見込まれる。今後とも対策に取り組んでいく。 ・今回は今年度最後の会議になる。1 年間をかけて見直しを進めてきた秩父市教育大綱の最終案についての協議のほか、令和 3 年度の教育関係主要事業について、情報共有、意見交換を行いたい。 <p>○教育長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いよいよ今年度最後の会議である。コロナが収束しない中ではあるが、GIGA スクール構想をはじめ、解決すべき課題が幾つもある。将来を担う子どもたちのため、活発な意見交換をお願いしたい。 <p>（傍聴者 入室）</p> <p>○議事</p> <p>（1）秩父市教育大綱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1、1-2 について事務局（地域政策課）から説明。 ・これまでの総合教育会議における議論及びパブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ、最終案を作成した。またパブリックコメントで寄せられた意見（3 件）に対する回答案を作成した。今回の会議で内容を確定したい。（事務局） <p>⇒特に意見なし。事務局提案のとおり確定。</p> <p>（傍聴者 退室）</p>

(2) 令和2年度 教育関係の主要事業について

- ・資料2について教育委員会事務局から説明。
- ・荒川西小学校の大規模改造に関連し、現在の児童数は50人と聞いているが、今後の見通しを確認したい。(松本教育委員)
⇒令和3年度が43人、令和4年度が44人、令和5年度が42人、令和6年度が32人、令和7年度が32人となる見込みである。(教委事務局)
⇒教育環境の整備は重要で、児童数が少なくても手を入れていくべきだ。良いことだと思う。(松本教育委員)
- ・学校給食費の公会計化について、もう少し詳しく聞きたい。(高野教育委員)
⇒文科省が、教職員の負担軽減を目的として、私会計で学校が行っているのが主流である給食費の徴収に関する事務を教育委員会(市の職員)がやった方が良さだろうとして進めている流れである。従来は学校で集めたお金の中でやり繰りをしてきたが、公会計化されることにより、市の予算で収入と支出を管理する形になっていく。(教委事務局)
⇒よく分かった。働き方改革にもなる。ぜひ推進願いたい。(高野教育委員)
- ・花小の学童保育室関連で意見をひとつ。先日、今年度に整備した西小にお邪魔した。素晴らしい施設だった。学校の中に学童があるのは安心、安全につながる。他校もそうなっていくと良いと思う。(高野教育委員)
⇒私も同じ意見だ。(市長)
- ・公会計化について良く理解できた。進めてもらいたい。(山中教育委員)

○その他

- ・どこも人口減少に悩んでいる。永遠の課題。皆で知恵を絞っていただきたい。(松本教育委員)
- ・この1年、市教委のコロナ対策はすごく良かったと感じている。市長の英断と教育長の判断もあったと思う。打つ手打つ手が良かった。トップの判断はとても大切だ。(高野教育委員)
- ・教育大綱について、批判的な意見も一部にあったが、良いものがあったと思っている。これからも実践して引き継いでいきたい。人口減はどこもそうだが、知恵を出していく。最前線で頑張っている。移住が増えているほか、ふるさと納税も県内で1番になっている。コロナについては、市内の学校でクラスターが発生しなくて良かったと思う。教育長と教育委員の皆さんに感謝したい。(市長)

○閉会

以上